ホクコーラブサイドスタークルフロアブル

■種 類 名：ジノテフラン・フサライド水和剤
■有効成分：ジノテフラン---------- 5.0%
フサライド---------- 12.0%
■化管法指定物質：ジノテフラン［第１種］ ---------- 5.0%
フサライド［第１種］ ---------- 12.0%

■登録番号：第21710号
■毒　　性：普通物(毒劇物に該当しないものを指していう通称)
■登録初年：2006.06.07
■性　　状：類白色水和性粘稠懸濁液体
■有効年限：4年
■包　　装：2ﾘｯﾄﾙ×6缶、20ﾘｯﾄﾙ×1缶(2年)

【特長】

- いもち病防除剤ラブサイドと斑点米カメムシ類等に効果の高いスタークルとの混合剤。
- 地上散布から無人ヘリコプター及び有人ヘリによる散布まで適用がある。

【適用内容】（2024 年 11 月末日現在）

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ジノテフランを含む農薬の総使用回数	フサライドを含む農薬の総使用回数
稲	いもち病 カメムシ類 ウンカ類	原液	0.2ﾘｯﾄﾙ/10a	収穫７日前まで	３回以内	空中散布	４回以内（育苗箱への処理及び側条施用は合計１回以内、本田での散布、空中散布、無人ヘリ散布は合計３回以内）	３回以内
		４倍	0.8ﾘｯﾄﾙ/10a			無人ヘリコプターによる散布		
	いもち病 カメムシ類	150 倍	25ﾘｯﾄﾙ/10a			散布		
	いもち病 カメムシ類 ウンカ類 ツマグロヨコバイ	500 倍	60～150ﾘｯﾄﾙ/10a					

【効果・薬害等の注意】

- 使用量に合わせ秤量し、使いきること。
- 本剤は長期間貯蔵しておくと分離するので、使用の際は容器をよく振って均一な状態にもどしてから所定量を取り出すこと。
- 散布液調製後はそのまま放置せず、できるだけすみやかに散布すること。
- 本剤を空中散布及び無人ヘリコプターによる散布に使用する場合は次の注意を守ること。
  - ◆ 各散布機種の散布基準に従って実施すること。
  - ◆ 微量散布装置以外の散布器具は使用しないこと。
  - ◆ 無人ヘリコプターによる散布にあっては、散布機種に適合した散布装置を使用すること。
  - ◆ 散布中、薬液が漏れないように機体の散布用配管その他散布装置の十分な点検を行うこと。
  - ◆ 散布薬液の飛散によって自動車やカラートタンの塗装等に影響を与えないよう、散布区域内の諸物件に十分留意すること。
  - ◆ 散布終了後は次の事項を守ること。
    - ① 使用後の空の容器は放置せず、安全な場所に処理すること。
    - ② 機体散布装置は十分洗浄し、薬液タンクの洗浄廃液は安全な場所に処理すること。
  - ◆ 水源池、飲料用水等に本剤が飛散流入しないように十分注意すること。
- 本剤を水田の水稲に対して希釈倍率 150 倍で使用する場合は、所定量を均一に散布できる乗用型の速度連動式地上液剤少量散布装置を使用すること。
- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにすること。
- ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意すること。
  - ◆ ミツバチの巣箱及びその周辺に飛散するおそれがある場合には使用しないこと。
  - ◆ 関係機関(都道府県の農薬指導部局や地域の農業団体等)に対して、周辺で養蜂が行われているかを確認し、養蜂が行われている場合は、関係機関へ農薬使用に係る情報を提供し、ミツバチの危害防止に努めること。
- 散布器具、容器等の洗浄水及び薬液は河川等に流さず、容器等は環境に影響を与えないよう適切に処理すること。
- 本剤の使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

【安全使用上の注意】

- ❖ 本剤は眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意すること。眼に入った場合には直ちに水洗いし、眼科医の手当てを受けること。使用後は洗眼すること。
- ❖ 無人ヘリコプターによる散布の際は農薬用マスクを着用すること。作業後はうがいをすること。
- ❖ 魚毒性等：使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきること。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないこと。また、空容器等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理すること。
- ❖ 保管：直射日光をさけ、なるべく低温な場所に密栓して保管すること。